

熱海市消防本部 個人防火装備 仕様書

この仕様書は、熱海市消防本部が令和5年度に整備する個人防火装備の仕様について定める。

1 品名及び数量

(1) 個人防火装備一式

ア、防火服（上下） 【11式】

※別紙仕様書のとおり（補助袋含む）

イ、防火帽 【11個】

※別紙仕様書のとおり

ウ、防火長靴 【11足】

※別紙仕様書のとおり

2 納 期 令和6年 3月29日（金）

3 納品場所 熱海市消防本部

4 備 考 サイズについては契約後、消防本部と調整すること

エミユファイター®防火服デュアルファイン
ショート丈上衣／ハイウエスト型ズボン仕様書

熱海市消防本部

1. 概要

この株式会社赤尾製エミユファイター®防火服デュアルファインショート丈上衣／ハイウエスト型ズボン（当本部指定）は、外衣と中衣からなる多層構造とし、『ボディ・ナビデザイン』による特殊立体デザインの上衣とズボンとする。外衣と中衣は着脱可能なものとする。

防火服上衣は単体で、防火服ズボンは当本部夏用活動服ズボン着用で、防火服のISO規格であるISO11999-3TYPE1及び平成29年3月7日策定の総務省消防庁発行の消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインに準拠したものとする。また、血液・体液を媒介とする感染症病原体から隊員を保護するため、透湿防水層には、JIS T 8060D及びJIS T 8061Dに規定されている人工血液バリア性、ウィルスバリア性試験においてクラス6レベルに適合する素材を用いること。

2. 使用材料

1) 外衣生地（上衣／ズボン共当本部指定）

項目	規格
品番	X29745/X29720
色番	ゴールド色／ネイビー色（アラミドは原液着色）
品名	ジーバリア®ライト
混紡率	メタ型アラミド 53% パラ型アラミド 47%
組織	二重織
引張強力	タテ 2300N以上（JIS L 1096A法） ヨコ 1670N以上（JIS L 1096A法）
引裂強力	タテ 375N以上（JIS L 1096A-1法） ヨコ 300N以上（JIS L 1096A-1法）
燃焼性	残炎時間 1.0秒以下（JIS L 1091A-4法） 余じん時間 1.0秒以下（JIS L 1091A-4法） 炭化距離 10.0cm以下（JIS L 1091A-4法）
制電性	7μC以下（JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法）

2) 補強生地（上衣／ズボン共当本部指定）

項目	規格
品番	X27245/X27220
色番	ゴールド色／ネイビー色（アラミドは原液着色）
品名	エクスファイア®ツイル
混紡率	メタ型アラミド 90% パラ型アラミド 10%
組織	2/1 綾織
引張強力	タテ 1800N以上（JIS L 1096A法） ヨコ 1100N以上（JIS L 1096A法）
引裂強力	タテ 90N以上（JIS L 1096A-1法） ヨコ 70N以上（JIS L 1096A-1法）
燃焼性	残炎時間 1.0秒以下（JIS L 1091A-4法） 余じん時間 1.0秒以下（JIS L 1091A-4法） 炭化距離 10.0cm以下（JIS L 1091A-4法）
制電性	7μC以下（JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法）

3) 中衣（上衣／ズボン共当本部N指定）

ア. 透湿防水層

アラミド100%基布にゴアクロステック®メンブレンをラミネートしたものとする。

要求性能

(耐水圧：初期及び洗濯20回 294Kpa以上 JIS L 1092 フィルム面加圧 目皿
使用)

(透湿度：850g/m²/h以上 JIS L 1099 B-2法)

(人工血液バリア性、ウィルスバリア性試験：レベル6クラス JIS T8060D及び
JIS T8061D)

イ. 遮熱層兼裏地

(上着用) 品 名 テイジン・テックウェーブ (TM)

品 番 X29F20

色 相 濃紺

(ズボン用) 品 名 テイジン・エクスファイア®リップストップ

品 番 X29R20

色 相 濃紺 (格子部はゴールド色)

4) 補助材料

ア. 内袖口 アラミド100%ニット

イ. 面ファスナー 幅25mm・50mm・38mm

ウ. 反射材 ユニチカスパークライト (株) 製パンチングメッシュ75mm巾黄・銀
(一部縫い糸上に蓄光シリコンレーン加工すること)

エ. ファスナー YKKファスナー

オ. サスペンダー ゴム製テープ幅約38mm黒色

カ. 押しホック 真鍮製#7050

キ. 縫製糸 メタ型アラミド 100% 40番
パラ型アラミド (フィラメント) 30番 (反射テープ部分)

ク. アイスポケット ナイロン黒メッシュ

ケ. アラシールド パラ系アラミド100%基布にハイソリッドポリマーコーティング
(上衣：両肩・両肘・両袖口 ズボン：両膝・両裾口)

3. 縫製

1) 全般

ア. 各部の縫い合わせは良好である事。

イ. 糸調子は良好である事。

ウ. 縫い代は約1cmとし表地はオーバーロックを掛け縫い始めと縫い終わりは返し針を施す事。

エ. 各部の縫製は防水構造を用いた縫製とする。

4. 上衣

1) 身頃

ア. 前身頃のハギ協合わせはオーバーロックを掛け地縫いをして片倒し飾り縫いとする。

イ. 左身頃に幅約9.5cmの前立付きとし、前立内側に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。

ウ. 右前身頃に面ファスナーとコイルファスナーを付ける。

エ. 右前身頃の前立ファスナー下部につまみを取り付ける。

オ. 左右前立側面に水平にマイク掛け用とアンテナ固定用の特殊型マイクフックを取り付ける (補

強生地使用)。

- カ. 左右胸に特殊型三方風巾胸ポケット(雨蓋三分割付き)を縫い付け、ポケット内側にループを2本付け、ポケット底部には水抜き穴を設ける(補強生地使用)。
- キ. 左右裾に内貼りポケット(雨蓋付き)を縫い付ける(雨蓋補強生地使用)。
- ク. 後身頃は一枚仕立てとしつまみ付きとする。
- ケ. 両肩・両肘・両袖口にアラシールドを縫い付ける。
- コ. 前身頃胸部・後身頃背中・裾周り・後身頃背中と裾の間に縦に2本に反射材ユニチカスパークライト(株)製パンチングメッシュ7.5mm巾を縫い付ける(一部縫い糸上に蓄光シリコンレーン加工すること)。
- サ. 見返し上部にハギを入れ中衣着脱のコイルファスナーを左右・面ファスナーを上部に付ける。
- シ. ポケット上部に力布として透湿防水層を縫い付ける。
- ス. 前身頃裏側下部に片布を取り付ける。
- セ. メイン色はゴールド色とし、袖の外側と内側(脇下含む)をネイビー色とする。
- ソ. 後身頃背ヨークに当本部指定箇所にて「静岡県 熱海市消防本部」の文字を丸ゴシック体・黒色で印刷する。
- タ. 後身頃つまみ部分に当本部指定箇所にて「ATAMI F. D.」の文字を丸ゴシック体・黒色で印刷する。

2) 襟

- ア. 表及び裏に共布を用いた一枚襟とし、芯地を入れ、地縫いの上飾り縫いをする。
- イ. 襟巾は後中心で約10.5~11cmとする。
- ウ. 襟の前部にはストラップが取り付けられていること。
- エ. 襟付けは防水構造を用いた縫製とする。
- オ. 表襟中央に襟吊りを付ける。

3) 袖

- ア. 袖は特殊ハギを用いた4枚袖とする。
- イ. 運動性を良くする為に後袖山にダーツを設ける。
- ウ. 袖口にアラミド素材のジャージと浸水防止用透湿防水層(シルバー及び無しは不可)を縫い付ける。
- エ. 袖口より約10cm上に反射材ユニチカスパークライト(株)製パンチングメッシュ7.5mm巾を縫い付ける(一部縫い糸上に蓄光シリコンレーン加工すること)。
- オ. 袖口に中衣止め用押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付ける。
- カ. 左袖に腕章取付用メス面ファスナー約7.5×14cm付きとする。
- キ. 腕章は赤色又は黄色反射生地使用し指定の文字を色にて刺繍入り若しくはパンチングメッシュ7.5mm巾黄・銀又は赤・銀2種類の反射板とする。
- ク. 袖口には補強の為にアラシールドを縫い付ける。
- ケ. 肘に補強の為にアラシールドを縫い付ける。

4) 胸ポケット

- ア. ポケット形状は長方形型の三方風巾ポケットを左右に縫い付け三分割雨蓋付きとする。
- イ. 胸ポケットは別々の無線機に合わせた型であるため雨蓋とポケットマチの寸法は異なる特殊型とする。

- ウ. 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。
- エ. 両胸ポケット内にループを2本取り付けること。
- オ. ポケット底部に水抜き穴を設ける。

5) 裾ポケット

- ア. ポケット形状は長方形型の内貼りポケットを左右に縫い付け雨蓋付きとする。
- イ. 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。

6) 中衣

- ア. 中衣は透湿防水層（ゴアクロステック：不織布不可）と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いすること。
- イ. 肩部に難燃フェルトを（遮熱層兼裏地）縫い付ける。
- ウ. 両脇に保冷材収納用ポケットを縫い付ける。
- エ. 透湿防水層（不織布不可）は地縫いをして片倒し飾り縫いをしシームテープで目止めをする。
- オ. 前身頃下部に取り扱い表示を縫い付ける。
- カ. バイヤステープで身頃及び袖口を始末し、外衣着脱用コイルファスナーを左右・面ファスナーを上部に付ける。

5. ズボン

1) 身頃

- ア. ズボンの形状は、最初から「く」の字の様に曲がっているデザインとしてベルトとサスペンダーにより支持するものとする。ハイウエスト型とする。
- イ. 内股部・脇部に運動性を良くするための特殊ハギを入れる。
- ウ. 脇縫い・内股縫い・尻縫いは裁ち目にオーバーロックを掛け地縫いをし片倒し飾り縫いとする。
- エ. ズボンはネイビー1色とする。

2) 前立

- ア. 前立はコイルファスナーと面ファスナーの併用仕立てとし押しホックで止める。
- イ. 押しホックの裏側には透湿防水層の当て布を付ける。

3) 腰部

- ア. 調整ベルト用ループ幅は約38mmとし、6本縫い付け腰の両側で確実に締められる構造であること。
- イ. 調整用ベルトは安全帯用ベルト通しの上部に取り付けするものとする。
- ウ. 調整ベルトが抜けないように先金（樹脂製）付きとする。
- エ. 調整ベルトを締め付けた後に緩まないようフリー面ファスナーで固定出来る構造であること。
- オ. 調整ベルトの下に安全帯用ベルト通し（補強生地使用）を5本縫い付ける。
- カ. 安全帯用ベルト通し裾部2点は上部2点卸式の二重構造とする。
- キ. 安全帯用ベルト通し前身2点の下にカラビナ通し用フック（二重構造）を左右に取り付けること（補強生地使用）。
- ク. カラビナ通し用フックは正面から見て左右へ通すものとする。
- ケ. 前身頃上部に共生地でサスペンダー受け金具支持台を縫い付ける。端末部分はカン止めをする。
- コ. サスペンダーはホルスター型とする。
- サ. 腰裏地に中衣着脱のコイルファスナーを付ける。
- シ. 腰裏に片布・サイズマークを縫い付ける。

4) 膝部

ア. 運動性を良くする為に膝部はバイヤス裁ちにする。

イ. 膝部に補強の為アラシールドを縫い付ける。

5) 裾ポケット

ア. ポケット形状は長方形型の二方風巾ポケットを左右に縫い付け雨蓋付きとする（補強生地使用）。

イ. 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとする。

ウ. ポケット底部に水抜き穴を設ける。

6) 裾

ア. 両裾から約10cm上の位置に、反射材ユニチカスパークライト（株）製パンチングメッシュ75mm巾を縫い付ける（一部縫い糸上に蓄光シリコンレーン加工すること）。

イ. 裾口脇側に開閉コイルファスナーを取り付ける。

ウ. 裾口に絞り用フラップを取り付ける。

エ. 裾口には補強の為幅約3.5cmのアラシールドを縫い付ける。

オ. 中衣固定のため、押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付けること。

7) 中衣

ア. 中衣は透湿防水層（不織布不可）と遮熱層兼裏地からなり、各々を重ね縫いすること。

イ. 透湿防水層（不織布不可）は地縫いをして片倒し飾り縫いシームテープで目止めをする。

ウ. 膝部に難燃フェルトを（遮熱層兼裏地側）縫い付ける。

エ. バイヤステープで腰部及び裾口を始末し、外衣着脱コイルファスナーと面ファスナーを付ける。

オ. 身頃上部に取り扱い表示・片布・サイズマークを取り付ける。

6. 寸法表

1) 上衣

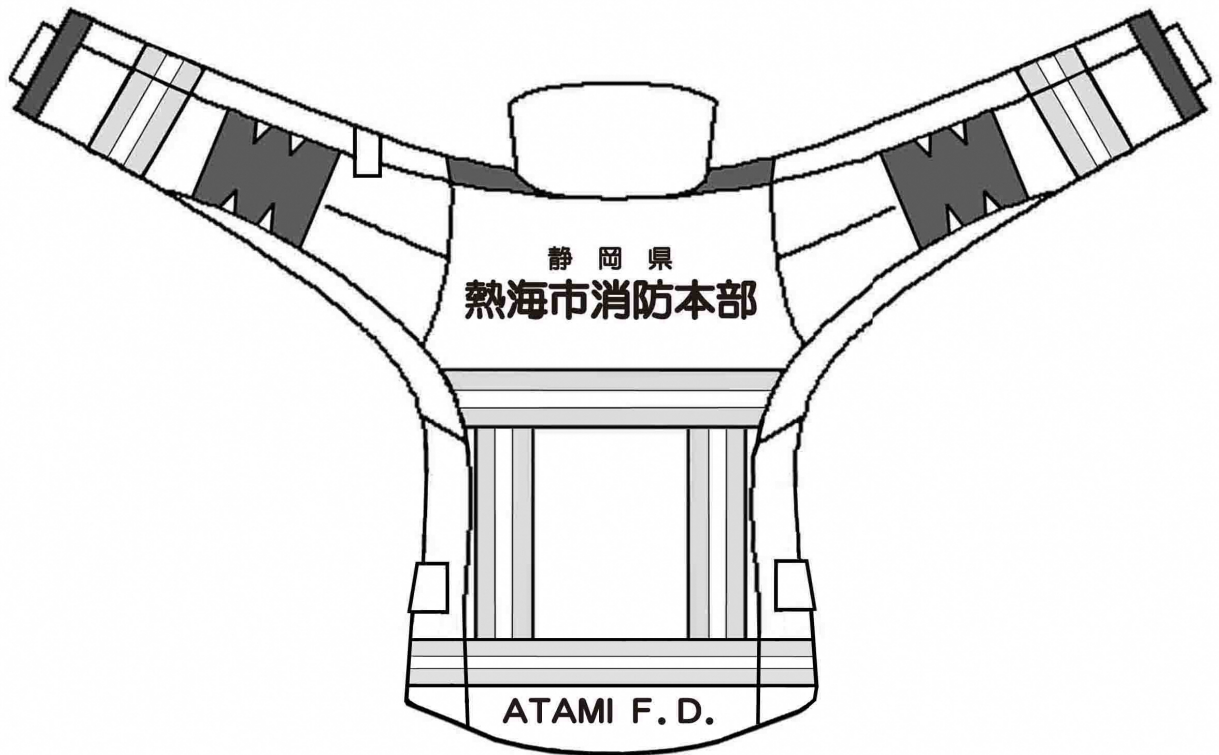
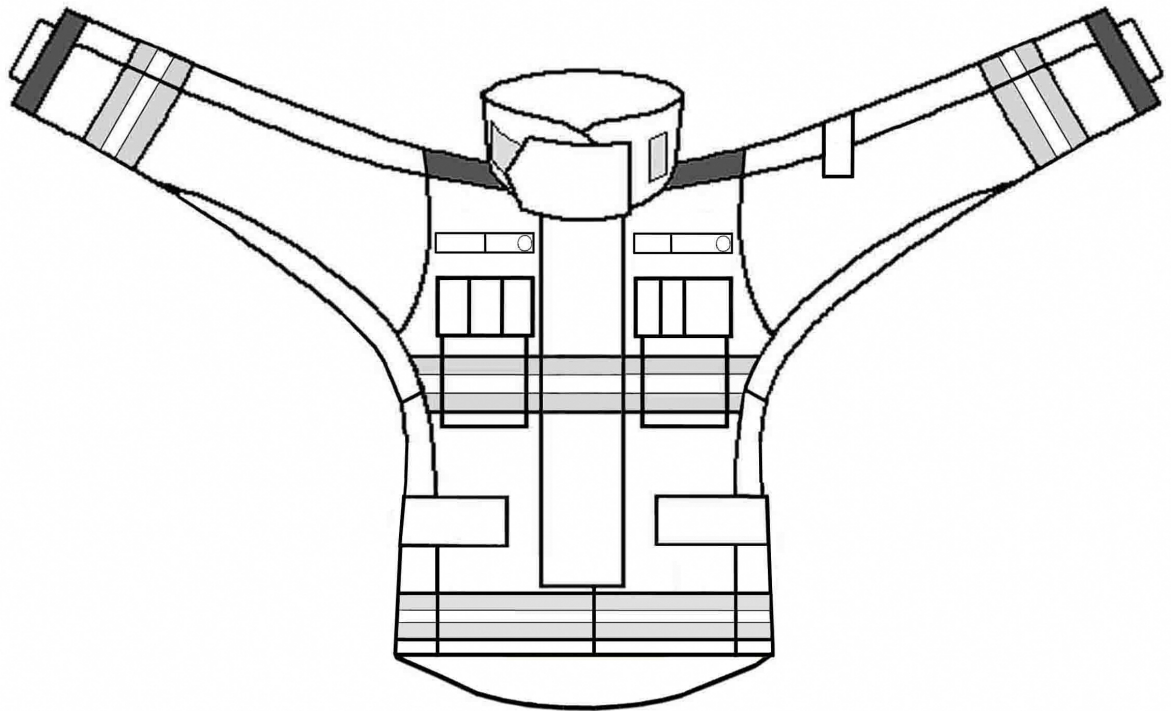
サイズ	着丈	衿丈	胸囲	裾回
S	69	77	116	112
M	71	80	120	113
L	75	83	124	117
LL	79	86	130	123
3L	83	89	136	129
4L	87	92	146	139
5L	87	95	156	149
BM	75	78	124	117
BL	79	81	130	123
BLL	83	84	136	139
B3L	87	87	146	149
B4L	91	90	156	156
B5L	91	93	166	166

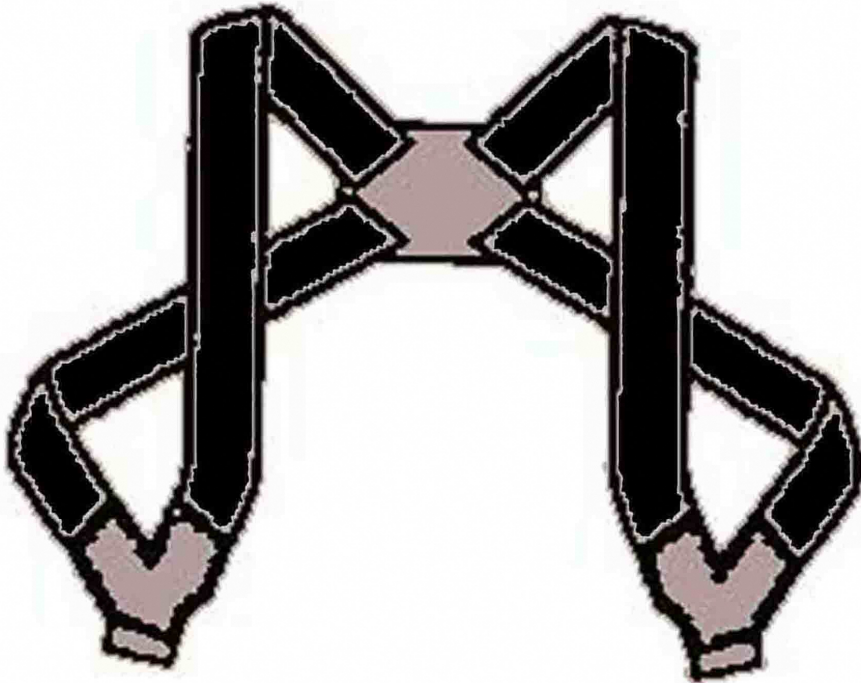
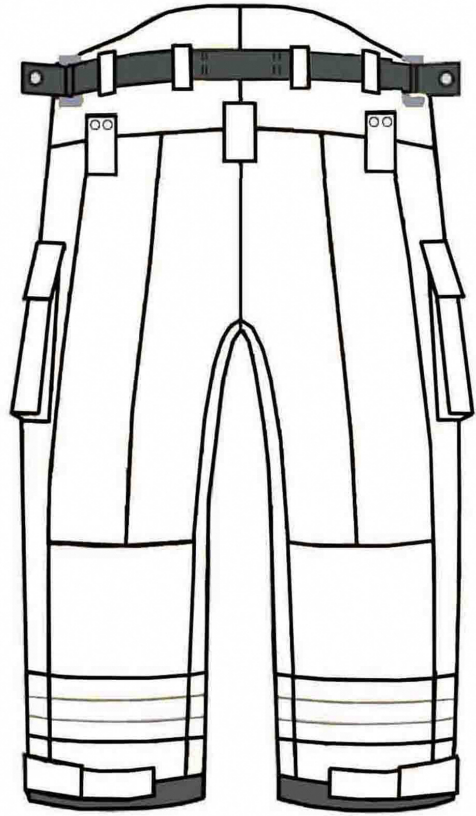
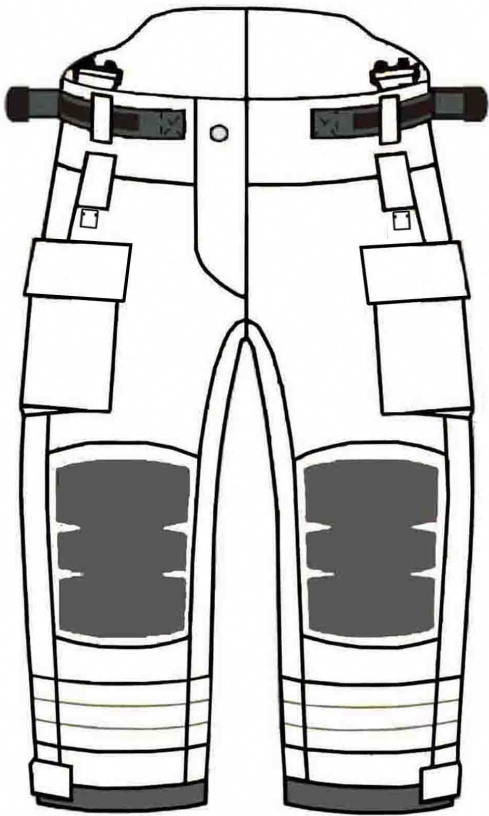
2) ズボン

サイズ	股上	股下	渡り幅
W80	33	70	36
		75	
W85	34	70	37
		75	
W90	35	70	38

		7 5	
W 9 5	3 5	7 0	3 9
		7 5	
W 1 0 0	3 6	7 0	4 0
		7 5	
W 1 1 0	3 7	7 0	4 3
		7 5	
W 1 2 0	3 8	7 0	4 6
		7 5	
W 1 3 0	3 9	7 0	4 9
		7 5	
W 1 4 0	4 0	7 0	5 2
		7 5	

7. 概要図





消防長

所長

署長

課長

当直司令

泉

本署

南熱海

エミユファイター®防火長靴仕様書
【HAIX FIRE LIGHT-JAPAN】

熱海市消防本部

1. 形状

- (1) 色は黒色とする（爪先に黄色のトーキャップ、踵・側面外側に蛍光イエローの反射材付・靴底一部黄色とする）。
- (2) 内外の調節紐での編上げにより太さが調節できる構造とし、調節紐にてサイズ調節を行った後センターファスナーで脱着を容易にする構造であるもの。
- (3) 製法は、射出成形式製法によるものとする。
- (4) 中底に踏抜防止素材を入れ、爪先部に樹脂製先芯を入れたものとする。
- (5) 履き口内側と外側及び舌革の上端部分に通気孔を設けた構造であるものとする。
- (6) センターファスナーのスライダーは、手袋を着用したままで操作できるものとする。
- (7) 中敷はカップインソールとし、着脱可能であること。
- (8) ライニングには防水透湿素材（GORE CROSSTECH®）を用い、防水構造であること。

2. 品質

(1) 外観

- ア. 各縫製部分において、各縫い合わせの上下糸につれやたるみがないものとする。
- イ. 縫い目において、目飛びや縫い外れのないものとする。
- ウ. 吊り込みが十分になされており、本底との接着が完全に行われているものとする。
- エ. 付属品（ハトメ、ファスナーなど）の取り付けは賢固であるものとする。
- オ. 使用上有害な傷、亀裂、破れ、異物の付着、その他これらに類する欠点がないこと。
- カ. 目立って外観を損なうような斑点、色ムラ、汚れ、模様の不鮮明、その他の欠点がないこと。
- キ. 本底には使用目的に合致した滑り止め、その他の意匠があること。
- ク. ライニングは外観が良好で傷等のないこと。
- ケ. ライニングとアッパーの間のインシュレーションに折れ等がなく、足あたりに影響のない状態であるものとする。

(2) 性能

- ア. このエミュファイター®革製防火長靴HAIX FIRE LIGHT-JAPANは、別表1の規格に適合するものとする。
- イ. ISO11999-6TYPE1準拠品とする。
- ウ. GORE CROSSTECH®4層ラミネート品とする。
- エ. SUN REFLECT温度上昇軽減（太陽光反射）効果が有るものとする。
- オ. ソールはEN15090 HI3対応とする。

3. 寸法

(1) 形状

革製防火長靴の形状は付図1を参照すること。また、ソールの意匠については付図2を参照すること。

(2) サイズ

革製防火長靴のサイズはMondo point : 23.0~30.0とし別表2のとおりとする。

4. 質量

(1) 完成質量は、約2.3kg/足以下であること(サイズMondo point 26.0で実施すること)

5. 包装及び表示

(1) 適宜箱に入れ、品名、サイズを明記するものとする。

6. 別図

(1) 別表1

区分	試験項目		規格	試験方法
甲革	厚さ (mm)		2.0 以上	J I S K 6 5 5 0
	銀面割れ	高さ (mm)	6.0 以上	J I S K 6 5 4 8
		荷重 (N)	150 以上	
	透湿度 (mg/cm ² ・h)		5 以上	I S O 1 4 2 6 8
	吸水性 (mm・h)		10 以下	J I S L 1 9 0 7 バイレック法
表底	引張試験	引張強さ (Mpa)	14 以上	J I S K 6 2 5 1
		伸び (%)	300 以上	
	引裂試験	引裂強さ (N/mm)	35 以上	J I S K 6 2 5 2
ライニング	耐水度 (kPa)		350 以上	J I S L 1 0 9 2 B法目皿使用
	透湿度 (g/m ² ・h)		200 以上	J I S L 1 0 9 9 B-II法
完成品	耐衝撃性 (mm)		14.0 以上 サイズ26.0	J I S T 8 1 0 1 衝撃エネルギー 200±4J
	耐圧迫性 (mm)		14.0 以上 サイズ26.0	J I S T 8 1 0 1
	耐踏抜き性 (N)		1,100 以上	J I S T 8 1 0 1
	かかと部の衝撃エネルギー吸収性 (J)		25 以上	J I S T 8 1 0 1

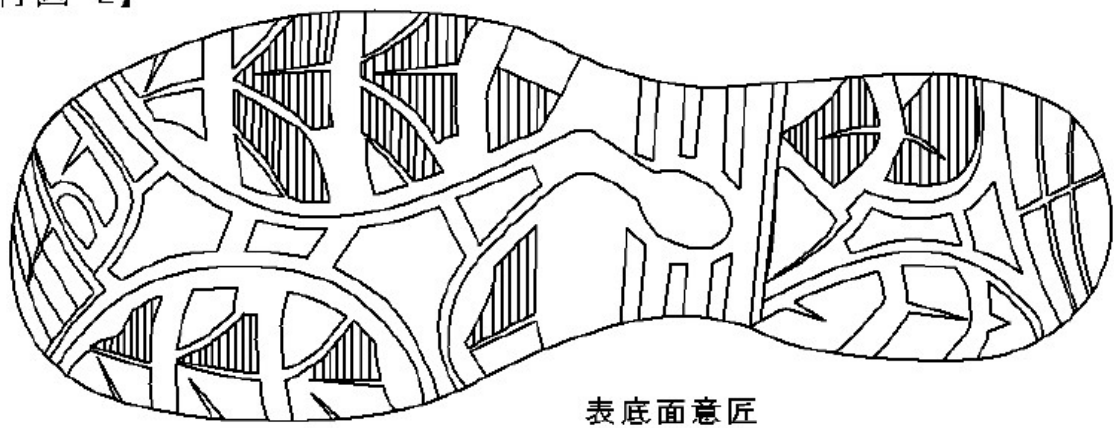
(2) 別表2

サイズ (単位: Mondo point)												
23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	29.0	30.0

【付図-1】



【付図-2】



【付図-1】



【付図-2】



エミュファイター®防火帽NEO-P23型

しころ付仕様書

熱海市消防本部

1. 総則

労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定（以下「労安法」とする。）に基づく保護帽の規格（昭和50年9月労働省告示第66号）に適合するもの及び、平成29年3月7日策定の総務省消防庁発行の消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインに準拠するものとする。

2. 仕様

1) 規格

この防火帽はエミュファイター®防火帽NEO-P23型（当本部指定）とし、しころは当本部指定防火服と同色ジーバリア®ライト生地を使用したエミュファイター®しころ（当本部指定）とする。

防火帽の構成等については5. 別表 1) の通りとすること。

2) 性能

帽体については、自己消火性を有することとし、試験規格等については5. 別表 2) の通りとすること。

3. 構造

1) 概要

この防火帽NEO-P23型は、シルバー色に仕上げ、焼付塗装とし容易に剥離しないものであること。帽体内側には衝撃吸収ライナー、装着体、あご紐、顔面保護板を取り付けること。顔面保護板は、視野の障害にならない位置で、帽体内部に収納できるものであり、使用時に簡易に引き出せる構造であること。また帽体外部にはヘッドライト取付用のドット釦を両サイドに取り付けたものとする。

ヘッドライト取付用のドット釦付のバンド2本付属とする。

2) 形状等

(ア) 帽体

① 本体

(A) 表面は滑らかで、堅牢であること。

(B) 帽体表面の仕上げは、シルバー色の塗装とし、容易に剥離しないこと。

② 徽章等

(A) 帽体前面中央に塩ビ反射署（大）を取り付ける。

(B) 帽体の両側面に「熱海市消防本部 ATAMI FIRE DEPARTMENT」と黒色・丸ゴシック体にて表示すること。

(C) 帽体の後部より熱海市型青色特殊線入れとすること（別図参考）。

(D) 帽体の後部の上部に階級シール入りとすること（別図参考）。

③ 掛け金具

帽体後部中央に半月環状の掛け金具を取り付けること。

④ 識別表示取付台座

指定の識別表示を耳側両サイドに取り付け可能なパーツを取り付けること。

⑤ ヘッドライト取付用釦

帽体両サイドにドット釦（オス）を取り付けること。

(イ) 着身体

①ハンモック

かぶり深さを調整できる、補助ハンモック付とすること。

②ヘッドバンド

頭回りに応じて概ね54cmから65cmまでの範囲で調整でき、またダイヤルラチェット式により、着装時でも容易に調整可能でフィット感が高いものとする。

③しころ取付板

(A) しころ取付用として、帽体に取り付けること。

(B) しころ取付板には、ドット釦（オス）を5個取り付けるものとする。

④頭頂パッド

頭頂部にクッション性、吸水性及び耐久性に優れた素材を使用した小判型の頭頂パッドを着脱可能な方法で取り付けること。

⑤あご紐

あご紐はワンタッチ式とする。

⑥衝撃吸収ライナー

難燃性を施した発泡スチロール（難燃レベル UL94 5VA クラス）とする。

⑦顔面保護板

(A) 帽体ひさし部より内部の視野の障害にならない位置に収納出来るものであり、使用時に簡易に引き出せる構造であること。

(B) 顔面保護板を降ろした状態で、帽体と顔面保護板の間に隙間がないこと。

4. 別表

1) 防火帽の構成等一覧

項目	規格等	
帽体	ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック	
衝撃吸収ライナー	難燃性を施した発泡スチロール（難燃レベル UL94 5VA クラス）	
着身体	ハンモック	ポリエチレン成型品
	補助ハンモック	ポリエチレン成型品
	しころ取付板	ナイロン成型品
	ヘッドバンド	ナイロン成型品・ラック式ダイヤル部（POM樹脂）
	補助ハンモック調整ひも	ポリエステル又はナイロン製、白色、長さ約350mm以上 両端ほつれ止め処理
着身体固定リベット	防食性を有する金属製	
あごひも	メタ系アラミドとパラ系アラミドの混紡糸平織り袋とじ幅約18mmとする。メタ系アラミドは原材着色とする。	
あごひも調整金具	黄銅製または同等の強度及び防食性を有する金属製 (黒色ニッケルメッキを施したもの)	

顔面保護板	ポリカーボネード板（両面をハードコート・防曇加工） 縦 約120mm±5mm 横 約190mm±5mm 厚さ 約1.6mm
重量	930g以下（防火帽のみ）

2) 試験規格等

項目	規格等
耐炎性	ISO11999-5:2015 帽体素材・シールド：残炎及び残光<2秒 帽体塗装部分：残炎及び残光<5秒 あごひも：残炎及び残じん<2秒 熔融・滴下不可
熱伝達性	ISO11999-5:2015 手順B 熱流束40Kw/m ² 3分 ・ 人頭模型表面温度 試験開始後180秒<24℃ ・ 帽体材料分離、滴下不可 ・ 試験箇所周囲の帽体に機能を損なう膨張、変形亀裂、穴あき不可
耐熱性	ISO17493:2000 熱風循環炉 180℃5分 溶解、滴下、分離不可、発火不可収縮率≤5%
衝撃吸収性	EN13087-2:2012（落下体法） 衝撃エネルギー：123J 頭部衝撃荷重≤15KN
耐貫通性	ISO16073:2011 ストライカ 1kg ストライカと検知部に接触がないこと。
耐側圧性	ISO11999-5:2015, 4.5.11 初期荷重30N時の側圧寸法に対し630N時の最大変形≤40mm、30N時の残留変形≤15mm
保持装置強さ	ISO1999-5 初期荷重30N 250N負荷において全体最大の伸び≤20mm、あご紐の最小幅≤15mm
耐電圧性	EN13087-8:2000, 5.2 導電性試験 破損の兆候不可 漏れ電流≤1.2mA
	残炎・残じん時間：5秒以下

帽体の自己消火性	プロパンガス（純度95%以上）をブンゼンバーナー（口径10mm）を使用して、青色炎が20mmとなるように調節して燃焼させ、帽体のつば後部中心から左右50mm、縁から20mmの位置を試験点とし、帽体のつばを水平に保持し炎の先端を試験点に10秒間当てた後、炎を取り去り、帽体の残炎・残じん時間を調べる。
	J I S T-8131：2000難燃性試験による。

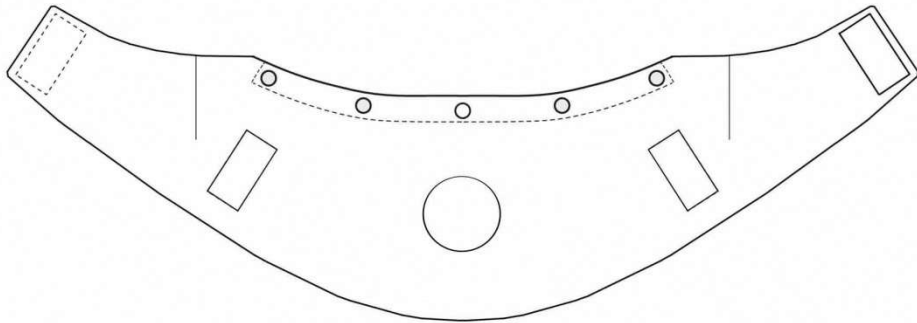
5. しころ

- 1) しころは1枚裁ちとし、汚れ等の欠点のないものとする。
- 2) メタ型アラミド53%パラ型アラミド47%色ジーバリア®ライト生地ネイビー色とリップを、重ねて縫い合わせたものを使用すること。
- 3) 裏面上部へりを、綿テープにより補強する。
- 4) 顔面を覆う折り返しを外衣生地で縫い付ける。
- 5) 裏面リップ織生地と表面生地の上に防水布を入れた新ガイドライン積層とする。
- 6) 中央にワッペン用直径8cm円形メス面ファスナー付きとする。
- 7) しころワッペンは赤色又は黄色反射生地使用し指定の文字を黒色にて刺繍入りとする（別図参照）。
- 8) 両端は面ファスナー止めとする。
- 9) 片布を裏面に縫い付ける。

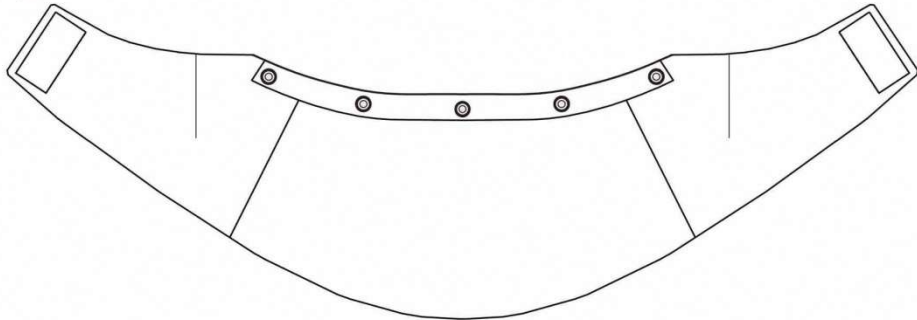
6. 別図



表



裏



本

南

泉

エミュファイター®防火服用補助ポケット
仕様書

熱海市消防本部

1. 概要

1) この補助ポケットは、安全帯に取り付け出来るもので、着脱可能な構造とする。

2. 使用材料

1) 主生地

項目	規格
品番	X29720
色番	ネイビー色 (アラミドは原液着色)
品名	ジーバリア®ライト
混紡率	メタ型アラミド 53% パラ型アラミド 47%
組織	二重織
引張強力	タテ 2300N以上 (JIS L 1096A法) ヨコ 1670N以上 (JIS L 1096A法)
引裂強力	タテ 375N以上 (JIS L 1096A-1法) ヨコ 300N以上 (JIS L 1096A-1法)
燃焼性	残炎時間 1.0秒以下 (JIS L 1091A-4法) 余じん時間 1.0秒以下 (JIS L 1091A-4法) 炭化距離 10.0cm以下 (JIS L 1091A-4法)
制電性	7 μ C以下 (JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法)

2) 補助材料

ア. 裏地	アルミ粉末コーティング生地
イ. 面ファスナー	幅約50mm
ウ. アイレット	アルミ製
エ. 縁パイピング	杉綾テープ
オ. 縫製糸	メタ型アラミド 100% 40番 パラ型アラミド (フィラメント) 30番 (面ファスナー部分)

3. 縫製基準

1) 各部の縫い合わせや糸調子は良好である事。

2) 縫い代は約1cmとし表地はオーバーロックを掛け、縫い始めと縫い終わりは返し針を施す事。

4. 縫製仕様

1) ポケット部

ア. 雨蓋付きポケットとし、ポケットは上端から約1cm下り中央部に縦横約5cmのオス面ファスナーを取り付ける。

イ. 雨蓋は左右の先端を小丸とし、裏側の先端から約1cmに縦約6cm、横約5cmのメス面ファスナーを取り付け、縁は地縫いのうえ縁から約1cmで飾り縫いとする。

ウ. 雨蓋の大きさは幅約12cm、長さ約12cmとする。

エ. ポケットの大きさは幅約12cm、深さ約19cm、マチ幅約5cmとする。

オ. ポケット口は約3cm内側に折り曲げた三つ巻き縫いとし、両端は門止めするこ

と。

- カ. ポケット縁下部は左右の先端を小丸とする。
- キ. ポケット底部に水抜き穴を設ける。
- ク. ポケット裏面に補強のため裏地を縫い付ける。
- ケ. 形状は別図のとおりとする。

2) ベルト通し部

- ア. ポケット上部に安全帯に取り付けが出来る様にベルト通しを設ける。
- イ. ベルト通しの幅は14cmとし、有効長さは約9cmとする。
- ウ. 内側に補強のため裏地を縫い付ける。

3) 縁パイピング

- ア. ポケットとベルト通しの縁に補強のためパイピングを縫い付ける。

5. 別図

